

ローマ人への手紙 第12章 2節

「この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。」

生活においても、仕事においても慣れることは大事です。それぞれのリズムが整い、混乱なくことを進められるのは健全なことです。生活や、仕事に慣れ、肝心なことにしっかりとところが向くゆとりが生まれるのは良いことです。

他方、人生や仕事に慣れ合ってしまう落とし穴もあります。取り組むまえに、もうそんなもんだと高をくくってしまう落とし穴です。これまでの経験がすべてと思い込み、新鮮なところで、生活に、仕事に取り組むことが出来なくなる落とし穴です。つまらなくなってしまう姿勢です。つまらなくしてしまう態度です。

この世と調子を合わせてしまうことかもしれません。そうではなく、神のみこころを思い、良きことを思い、神に受け入れられ、何が完全であるのかわきまえる知ることが大切です。それには、自分に馴れ合うのではなく、心の一新によって自分を変えることです。変えなさいと勧めておられる神が、変えてくださるのです。何が良いことかご存じの神が変えます。

2025年6月17日